

2014 年度 事業報告書
(2014 年 4 月～2015 年 3 月)

①□ 柔道の国際的普及、振興に関する事業						
ア 柔道用具（リサイクル柔道衣・畳）支援事業						
内容	リサイクル柔道衣					
	パラグアイ	100 着	ナイジェリア	50 着	ブータン	100 着
	ケニア	9 着	チュニジア	100 着	エルサルバドル	50 着
	ザンビア	44 着	アルゼンチン	30 着	ブラジル	100 着
	ラオス	92 着	スワジランド	50 着	コンゴ	50 着
	スーダン	5 着	コスタリカ	100 着	コロンビア	100 着
	計	980 着				
イ 柔道文献の翻訳事業						
内容	2014 年度は実施なし。 ※小説「姿三四郎」の英訳作業は著作権の問題から中断している。 事業なし					
ウ 教材制作事業						
内容	宮崎誠司医師監修「柔道事故防止のための DVD」および説明書を製作し、全国の柔道指導者へ無償配布をした。					
エ 外国からの指導者・選手受入支援事業						
内容	<p>以下の 10 件の受入れを実施した。</p> <p>中国青島友好柔道館（東海大学湘南校舎などで交流 2014 年 7 月）</p> <p>2020 年 東京五輪へ向けたコーチ支援としてアラブ首長国連邦（UAE）からコーチ 2 名、選手 4 名（2014 年 7 月～8 月）</p> <p>外務省、東海大学、東海大学望星学塾等と協力して外国人指導者を受け入れ、コーチングセミナーを主催した。イスラエル・パレスティナ、タンザニア、コートジボアール、ラオス、アメリカ、中国などから 8 名（2014 年 11 月～12 月）</p> <p>2020 年の東京オリンピックに向けた選手育成及びコーチ育成のサポートとしてキリギス女子柔道チーム（2014 年 7 月／2015 年 3 月）</p> <p>ロシア・サンクトペテルブルグ、ラフリン道場からコーチ及び選手（強化練習計 20 名、2014 年 12 月）</p> <p>2016 年のリオデジャネイロオリンピックへ向けてガーナ男子・エマニュエル選手（2015 年 1 月）</p> <p>セネガル女子・ホンタンス選手（強化練習 2015 年 3 月～）</p> <p>アフガニスタン女子・レザイ選手（2014 年 9 月）</p> <p>英国少年少女チームへの滞在支援（2014 年 10 月）</p> <p>コスタリカ男子・イアン選手（強化練習 2015 年 3 月～）</p>					

オ 外国への指導者派遣事業	
外務省や国際交流基金、東海大学等からの協力を得て柔道指導者（学生ボランティア含む）を海外へ派遣する。	
1) 一般指導者派遣	
内容	以下の6件の派遣及び行事支援を実施した。 ロシア・サンクトペテルブルグにて山下泰裕柔道教室を開催（2014年5月） アメリカ・ウエストポイント陸軍士官学校及びアナポリス海軍士官学校に藤井岳（2014年8月） UAEにおける学校柔道普及に伴う指導者研修会実施に光本健次、高橋健司の2名（2014年10月） アメリカ・サンノゼ大学柔道部へ佐藤愛子（2014年8月） 中国・南京及び青島の日中友好柔道館へ光本健次と瀧名智男の2名（2015年3月） なお、計画していたイスラエル・パレスティナへの派遣、日仏合同プロジェクトのイスラエル・パレスティナ指導者派遣に関しては、国際情勢の悪化によって延期することにした。
2) 学生ボランティア派遣	
内容	次の3名の学生を派遣した。 ラオスへ・・・石井勇人（東海大学大学院生 2014年8月） アラブ首長国連邦（UAE）へ・・・矢澤賢人（東海大学柔道部2年生 2014年10月） 中国南京及び青島へ・・・佐々木浩太郎（東海大学柔道部3年生 2015年3月）
日露武道交流年	
内容	日露武道年にあたり政府から山下泰裕、浅井信幸の2名（日本武道団役員としてモスクワへ、2014年11月5日～12日）
カ 会報誌の発行	
内容	年2回発行した。 会報誌16号・・・2014年9月発行した 会報誌17号・・・2015年3月発行した
キ 講演会事業	
内容	年2回開催した。 第15回・・・2014年5月30日（金）、会場：如水会館、講師：塚田真希（東京女子体育大学講師）、演題：英国帰国報告「さまざまな人との出会いを通して経験したこと」、参加者：約120名 第16回・・・2014年12月2日（火）、会場：喜山倶楽部、講師：王華（日中友好青島柔道館・総幹事）/常東（日中友好南京柔道館・ジュニアチーム監督）、演題：「日中友好柔道館の歩み」、参加者：約100名
ク 国際柔道研究者会（IAJR）支援事業	
内容	2014年度は実施なし。

② 柔道を通じての文化交流、異文化理解の推進事業	
ア 海外柔道普及支援事業	
内容	以下の4件を実施した。 DVD教材の送付（フランス、中国） 講道館国際合宿参加支援（イスラエル、ガーナの選手2名、2014年12月、会場：講道館） 柔道普及支援（ロシア・ラフリン記念柔道大会ほか） 強化合宿支援（ミャンマーナショナル男子チーム、2015年2月、日本）
イ 留学生柔道体験	
内容	年2回、東海大学の留学生を対象に柔道教室を開いた。 2014年8月 留学生14名参加 2015年1月 留学生16名参加
③ 柔道による青少年育成事業	
ア 柔道教室(国内外)	
内容	以下の5件を実施した。 学校法人東海大学望星学塾・松前柔道塾と共催で「少年少女柔道教室」を開く。 同様に「国際親善週間」を共催（2014年7月～8月） 同様に「第4回望星スポーツジャンボリー」を共催（2014年8月29日～31日） 同様に「Rusty Kanokigi Memorial 第34回塾友杯柔道大会」を共催（2014年11月30日） 同様に「第6回中郡柔道研修大会」を共催（2014年12月）
イ 指導者養成研修会	
内容	「暴力の根絶」プロジェクトを支援した。
ウ 国際中・高生柔道大会支援	
内容	モンゴルナショナル・男子高校生チーム「復興支援全国高等学校選抜柔道錬成三春大会」への参加支援、（2015年2月）